

★キラリスト ちよつと 聞かして!



したしげ たくや
下重 拓也 さん

●プロフィール
社会福祉法人櫻学園
さくら保育園保育士

皆さんは、身近に“男性保育士”がおられることを、ご存知ですか？

今回は、“男性保育士”の下重拓也さんを紹介いたします。

“保母”から“保育士”の名称に統一され、男女関係なく保育の現場に関わるようになり、年々“男性保育士”の数も増えてきましたが、まだまだ少ないのが現状です。そんな中で、さくら保育園3年勤務の下重先生に、お話を聞くことができました。

第一印象は、はにかんだ笑顔と共に、ほっとできる優しさが伝わってくる方でした。保育士になろうと思ったきっかけは、高校2年生の授業で保育園に行き子どもたちと遊ぶ楽しさを知り、加えて“男

性保育士”を目指す先輩の影響もあり、保育短大に進まれたそうです。

「実際に保育士になられてどうですか？」と聞くと、「子どもたちと遊ぶのはとても楽しいです。色々なこともあります。経験をするうちに子どもたちも自分を求めてくれるのが、一番嬉しいです。」との力強い答えが返ってきました。

サッカー少年だった下重先生は、今も地元のチームで活躍中です。戸外遊びになるとサッカーを一緒にやろうと、子どもたちが側に来て引っ張りだこのようです。男性ならではの行動や視点で子どもたちと遊び、日々子ども同士のトラブルに対しても、いつもゆったりとじっくり対処する姿勢は、先輩保育士も学ぶことが多いとのこと。「今の自分にできることを身につけて、必要な技術を学び経験の中で生かしていきたい」と今後の目標を語る姿を、とても頼もしく感じました。

最後に再度、「子どもたちと遊ぶのが、一番楽しい」との思いのこもった言葉に、未来の子どもたちを育てる保育士としての下重先生は、キラリストとしてぴったりの方でした。

日本女性会議 2008とやま



気持ちつなごう

大会テーマ

きらめ
煌く人とひと、連なる峰々へ

日時 平成20年10月17日(金), 18日(土)

開催地 富山県富山市

主催 日本女性会議 2008とやま実行委員会
富山市

家庭(親・祖父母)と地域のための

育ち合うコミュニケーション講座

＝ 育児の前に育自を ＝

日時 平成20年10月29日(水)

会場 県立広島大学 三原キャンパス

内容 11:00～13:00 (パネルディスカッション)
「ニートにさせない育て方、家庭と地域の役割」
13:30～14:30 (グループ懇談・まとめ)
「一緒に子育て私の役割」

定員 80名

参加料 無料

問い合わせ 青少年女性課 TEL 0848-64-9234

編集後記

今回は、平成19年3月に策定された「三原市男女共同参画プラン」の実行にあたって、市民全体で取り組んでいくという三原市の姿勢をお伝えできればという“思い”で企画しました。

男女共同参画社会があたり前になり、“協働のまちづくり”を市民一人ひとりが実感できる“まち”になることを願っています。